

# なりたかった自分になるのに、 遅すぎることはない

「いつでも、誰でも、どこでも学べる」  
そんな大学が高島市に誕生



遠隔教育の可能性について語る門脇所長

「大学のない高島市で、少しでも教育の機会を持ちたい。」との念願が叶い、このたび、放送大学の協力を得て、市立図書館内に放送大学「高島教室」を開設しました。

今回、放送大学滋賀学習センター 門脇延行所長(以下「所長」と橋本源之助教育長(以下「教育長」)に、放送大学「高島教室」について対談していただきました。

**(教育長)** 今日は放送大学滋賀学習センター 門脇所長に放送大学についてお話を伺いします。門脇所長、まず、放送大学についてご紹介をお願いします。

**(所長)** 放送大学というと「放送関係の学校」かと誤解される方もおられるようですが、放送大学はテレビ・ラジオの放送を利用した通信制の大学で、教養学部と大学院を置いています。放送

大学の特徴は、「学びたい」という意欲があれば、どなたでも入学が可能であることです。入学試験もありません。もちろん正規の「大学」ですので、大学卒業資格も取得できます。

CS放送(衛星放送)などのテレビ・ラジオの視聴や学習センターでのビデオ視聴等で講義を受けることができ、自分の時間に合わせて、いつでもどこでも学べるのが一番の特徴でしょう。

というのは、生涯学習にとって大事なことです。放送大学にはそのまま当てはまると思います。

高島市は、近江聖人といわれた中江藤樹先生の出身地で、来年、生誕400年を迎えます。藤樹先生は、「学問は心のけがれを清め、身のおこないをよくするを本実とす」とおっしゃっています。最近の食肉業者の不祥事など企業や社会のモラル低下が著しい今日、この言葉は私たちに学ぶことの意味を改めて考えさせてくれるものだと思います。

**(所長)** 中江藤樹をはじめ、昔から学問への「志」はたいへん重視されていたと思います。その点、放送大学は「志」さえあれば、どなたでも学ぶことができます。ただ、自己学習が中心となりますので、「自分一人で学習しているとなかなか続きにくい、学習仲間が欲しい」という声が学生さんからあります。そこで、大学では、スクーリングを各地域で開講したり、学習会を持つようにしています。

**(教育長)** そうですね。社会人の学習には、「学ぶ」とともに「集う」ということが大事な要素になります。仲間とともに学び合う、そこに学ぶ楽しさが生まれるのだと思います。

**(所長)** 放送大学でも「スクーリング」

**(教育長)** 全国に放送大学の学習センターがあると聞いていますが、滋賀県ではどこにあるのでしょうか？

**(所長)** 滋賀学習センターは、大津市の龍谷大学瀬田キャンパスの中にあります。高島市からはかなり遠方になりますので、JR京都駅前にある京都学習センターを利用されている方も多くおられます。現在、高島市では22人の学生さんが学んでおられますが、半数強が京都学習センターに所属されています。

**(教育長)** 高島市から学習センターへ遠いということから、放送大学「高島教室」を設置していただいたと聞いていますが…。

に人気があるのは、「集う」ことが社会人の学生にとって魅力があるからだと思います。

**(教育長)** 高島市からもたくさんの方が放送大学で学ぶようになれば、テーマごとの学習会を高島市で開催する、ということも可能になってくると思います。

それでは、センターのこれからの展望についてお聞かせください。

**(所長)** 冒頭に申しましたように「放送大学」の知名度はまだまだ低いものがあります。生涯にわたって学習したいという方々の期待に応えられるよう、「生涯学習機関」としての社会的使命を果たさなければならぬと思っています。

**(所長)** 海東市長が就任されてしばらくした頃、ご相談に寄せていただきましたが、市長の「高島に大学教育を」との強い思いを聞かせていただき、感銘を受けました。なんとか高島市の方々に便宜を図れないかと大学本部と交渉を続け、ようやく今年の5月に約130科目分の講義ビデオ・カセットテープを「高島教室」として市立図書館に置くことが可能になりました。

**(教育長)** 放送大学「高島教室」を図書館に設置することは多くの利点があると思います。高島市は滋賀県で最も面積が広い市ですが、図書館なら市内に6館ありますし、図書館間の配送システムが確立され、どの図書館へもすぐにビデオ等を配送することができます。

ます。学歌に「学ぶ楽しさ、知る喜び」とありますが、そのことを実感してもらえそうな学習センターにしていきたいと考えています。

**(教育長)** 「生涯学習社会の実現」が唱えられていますが、私は、学習された成果をぜひ社会で活用していただきたいと願っています。市民の多くの方が仲間とともに学び合い、学んだ成果を生かしてよりよい地域づくり、まちづくりに取り組んでもらいたいと思っています。特に、財政的に豊かでない高島市では、市民の皆さんの知恵と主体的な参加によってまちづくりを進めていくことが大切だと考えています。教育委員会としても、そのための「人づくり」を重視して、高島教室設置を



志の教育を語る橋本教育長